

## I 概要

- 1 開催日時 令和7年9月27日（土） 午前10時から正午まで
- 2 開催場所 静岡市立高等学校 会議室
- 3 出席者（委員） 海野耕司副会長、高木雅宏委員、大森公香委員、梅島眞代委員
- 4 出席者（学校） 新家輝男校長、佐野仁彦副校長、京田慎一教頭、加納多佳子事務長
- 5 傍聴者 1名
- 6 配布資料 次第  
時間割  
部活動の結果等

## II 議題等（次第順）

- 1 開会のことば
- 2 校長挨拶
  - ・本校教育活動への理解と協力への謝意
  - ・「学校公開」の開催概要について説明
  - ・委員には、生徒及び教員の姿を観察のうえ、意見や感想の提供のお願い
- 3 日程確認及び授業見学の説明
- 4 授業見学
- 5 授業見学に対する感想等
  - ・生徒達の休み時間と授業開始時の切り替えが素晴らしいと感じた。
  - ・授業の様子を直接見て、生徒の取り組み方がよく分かった。
  - ・別のクラスに移って自分に合った学習を選択している生徒の姿が印象的だった。
  - ・課題への取組や提出物の管理など、とてもよくできており、先生方の指導が生かされていると感じた。
  - ・生徒の発表も見学したが“ダンゴムシ”をテーマとした内容でも様々な観点で研究しており驚いた。
  - ・先生方は単に知識を伝えるだけでなく、生徒と一緒に学ぼうとしている姿が見られた。
  - ・若い先生が多いこともあり、雰囲気がとてもよかった。
  - ・教科書やプリントを工夫して使い、ただ与えるだけでなく、生徒達とやり取りをして学びを深めていることが印象的だった。
  - ・授業中に生徒間の教え合いをする姿がありよかった。
  - ・課題解決の取組を科学探究科の生徒だけでなく普通科の生徒も実践していることが良かった。
  - ・先生方が生徒への問いかけ方法に工夫が感じられ、壇上から降りて生徒に近づき、会話しながら授業を進めていた姿も印象的であった。
  - ・科学探究科の生徒がポスター発表をしていたが、普通科の生徒が作成したポスターも掲示されており、第2期SSH指定から普通科へも探究活動が拡大されていることを実感した。
  - ・発表は生徒達の目線でテーマを設定し、一つの事柄について深く掘り下げて考えられており、学年を越えて活動がつながっているように感じた。

- ・本日の授業中の一場で印象的だった。欠席している生徒の机に配布物を入れている場面で、ある生徒が休んでいる生徒の机に資料を片づけていた。このような自然な思いやりの姿に、人としての成長や社会とのつながりを意識している様子を感じた。授業の中で先生方がそのようなことを意識的に取り入れているのであれば、とてもよいことだと思った。

## 6 今後の日程等の連絡

今後の日程について静岡市立高等学校副校長から連絡

第4回 令和8年2月12日(木)

午前10時から正午まで